

静岡県東部地域企業経営動向調査

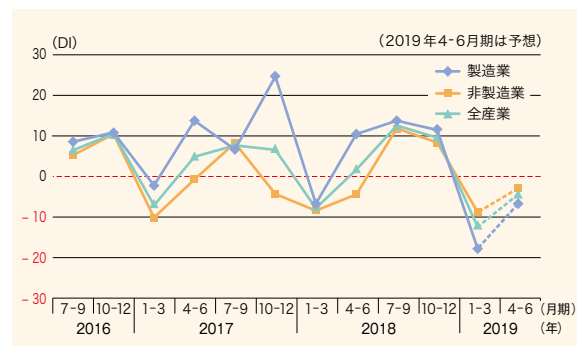
(2019年1-3月期実績、2019年4-6月期見通し)

① 業況概要(自社)

製造業、非製造業ともに大きく低下し、「下降」超に。来期は「下降」超縮小の見通し

静岡県東部地域における2019年1-3月期の業況判断DI(前期比)は、全産業でみると大幅に低下し、-12.4(前期9.6)と「下降」超に転じた。業種別にみると、製造業では、-17.8(前期11.5)と4期ぶりの「下降」超となった。パルプ・紙・紙加工品は中立水準を維持したものの、それ以外の業種では低下、特に一般機械器具の低下幅が大きい。非製造業では、旅館・その他宿泊所、建設は上昇したものの、全体では、-8.8(前期8.4)と3期ぶりの「下降」超となった。

2019年4-6月期の予想DI(今期比)は、製造業(-6.7)、非製造業(-2.9)ともに、「下降」超縮小の見通しである。



業種別天気図



(2018年10-12月期、2019年1-3月期は前期比。2019年4-6月期は今期比予想)

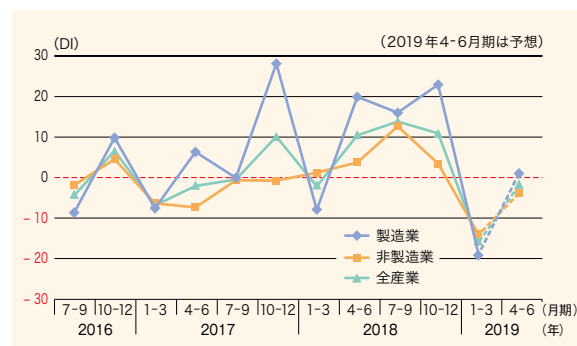
	製造業	食料品	パルプ・紙・紙加工品	一般機械器具	非製造業	卸・小売・サービス業	旅館・その他宿泊所	建設業
2018年10-12月期	☀️	☁️	☁️	☀️	☁️	☁️	☁️	☁️
2019年1-3月期	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☀️
2019年4-6月期	☁️	☁️	☀️	☁️	☁️	☁️	☁️	☀️

② 売上動向

製造業は4期ぶり、非製造業は5期ぶりに「減少」超に転じる

2019年1-3月期の売上動向DI(前期比)は、全産業でみると大幅に低下し、-15.9(前期11.0)と「減少」超に転じた。業種別にみると、製造業全体では、-18.9(前期23.0)と4期ぶりの「減少」超となった。ただし、金属製品では低下したものの、「増加」超を維持している。非製造業全体では、-14.0(前期3.5)と5期ぶりの「減少」超となった。ただし、旅館・その他宿泊所、建設では、「減少」超が縮小した。

2019年4-6月期の予想DI(今期比)は、製造業(1.1)は「増加」超への転換、非製造業(-3.8)は「減少」超縮小の見通しである。

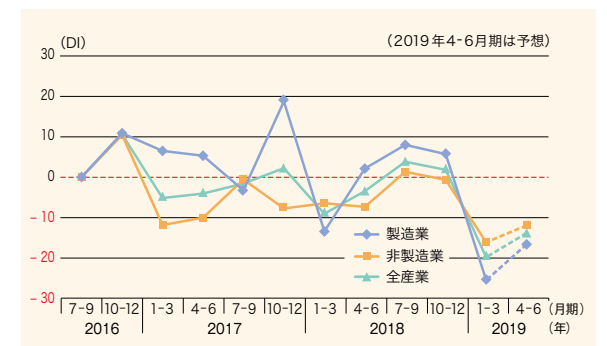


③ 利益動向

すべての業種が、「減少」超の水準に

2019年1-3月期の利益動向DI(前期比)は、全産業でみると大幅に低下し、-19.9(前期1.8)と「減少」超に転じた。業種別にみると、製造業全体では、-25.6(前期5.7)と4期ぶりの「減少」超で、すべての業種が「減少」超となった。非製造業全体では、-16.2(前期-0.7)と「減少」超が拡大、製造業同様すべての業種で「減少」超となった。

2019年4-6月期の予想DI(今期比)は、製造業(-16.7)、非製造業(-12.0)ともに、「減少」超がやや改善する見通しである。



④ 経営上の問題点

非製造業で、「人件費の増加」が最もウエイトの高い問題点に

表に掲げた、経営上の問題点を3つ選択する方式では、「受注・売上の停滞・減少」が最多で、上位の順番は前回と同様であった。一方、そのなかで最もウエイトの高い問題点

は、製造業では「原材料・資材・仕入商品の値上がり」が最多で前回と同じであったが、非製造業では「受注・売上の停滞・減少」に代わり、「人件費の増加」が最多となった。

	2018年7-9月期		2018年10-12月期		2019年1-3月期		順位変動
	企業数	割合	企業数	割合	企業数	割合	
1. 受注・売上の停滞・減少	84	35.7%	93	40.6%	89	39.9%	→
2. 人材の育成	96	40.9%	92	40.2%	85	38.1%	→
3. 求人難	95	40.4%	86	37.6%	81	36.3%	→
3. 従業員の高齢化	91	38.7%	69	30.1%	81	36.3%	↑
5. 人件費の増加	60	25.5%	60	26.2%	72	32.3%	↑
6. 原材料・資材・仕入商品の値上がり	67	28.5%	64	27.9%	66	29.6%	↓
7. 過当競争・製品安	39	16.6%	49	21.4%	45	20.2%	↑
8. 生産・販売能力の不足	45	19.1%	58	25.3%	36	16.1%	↓

(回答企業235社) (回答企業229社) (回答企業223社)

調査の概要

- 調査目的 静岡県東部地域(富士川以東)の景気動向と先行きを予測し、主要産業の実態を把握
- 調査対象企業 静岡県東部地域に立地する企業455社 回答企業数226社(回答率49.7%)
- 調査方法 当研究所の指定した項目につき、記名式で実績と見通しを記入するアンケート調査
- 調査対象期間 実績:2019年1-3月期 見通し:2019年4-6月期
- 調査時点 2019年3月

DI: ディフュージョンインデックス(Diffusion Index)の略。「上昇、増加、好転」した企業割合から「下降、減少、悪化」した企業割合を差し引いたもので、業況判断を見る指標。